

はじめに
確認すること

子どもの
症状

大人
の症状

高齢者
の症状

救急車の
呼び方

電話相談
病院内

休日夜間
急患診療

事故防止
(子ども
高齢者)

応急手当

高齢者 ためらわずに救急車を呼んでほしい症状

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に通報してください！
重大な病気やけがの可能性がります。

顔

- 顔半分が動きにくい、しびれる
- 笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい
- 見える範囲が狭くなる
- 周りが二重に見える



頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 急にふらつき、立ってられない

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 旅行などの後に痛み出した
- 痛む場所が移動する

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 血を吐く

手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

意識の障害

- 意識がない（返事がない）
又はおかしい（もうろうとしている）



けいれん

- けいれんが止まらない

けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど



吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 物をのどにつまらせた



事故

- 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合
高齢者は自覚症状が出にくい場合もありますので注意しましょう

※迷ったら「かかりつけ医」に相談しましょう！

総務省消防庁発行「救急車利用リーフレット」から引用